

ビール類の販売動向（2020年11月分）

首題の件につき、下記の通りご連絡申し上げます。
 なお、本メモの表示数の算出根拠は「販売数量」で、「課税移出数量」ではありません。
 また、表示ケース数は大びん換算です。
 よろしくお取り計らいいただきますよう、お願い申し上げます。

記

- ビール・発泡酒・新ジャンル合計は前年比88%でした。
 - ・ビールカテゴリー缶商品の実績が引き続き好調に推移し、全体の数字を牽引しました。
 - ・新型コロナウイルスの感染が再拡大した影響もあり、樽・びん商品が前年実績を下回りました。
- ビールカテゴリーは前年比90%でした。
 - ・酒税税率改正の影響もあり、黒ラベル単体、エビス単体の缶商品が前年実績を大幅に上回りました。1-11月累計でも前年実績を上回っています。
 - ・限定商品「黒ラベル エクストラモルト」の販売が好調に推移し、カテゴリーの販売実績に寄与しました。
- 新ジャンルカテゴリーは前年比86%でした。
 - ・11月単月では引き続き酒税税率改正の影響から、前年実績を下回りましたが、1-11月累計では前年実績を大幅に上回り、前年比120%でした。

<カテゴリー別販売状況>

	11月単月		累計	
	本年函数	前年比	本年函数	前年比
ビール	90		82	
発泡酒	84		84	
新ジャンル	86		120	
ビール類 合計	88		92	

(単位:%)

<ブランド別販売状況>

	11月単月		累計	
	本年函数	前年比	本年函数	前年比
黒ラベルブランド計	116	89	1,198	81
※黒ラベル単体	-	83	-	80
エビスブランド計	65	83	581	83
※エビス単体	-	96	-	86
麦とホップブランド計	52	60	689	80
※麦とホップ単体	-	60	-	81

(単位:万ケース、%)